

令和6年度 第2回 藤沢市立亀井野小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年7月4日（木）10:00 から

場 所 亀井野小学校 会議室

出席委員	<p>佐久間 茂（会長・前 亀井野小学校評議員） 平尾 洋二（前 亀井野小学校評議員・おはようボランティア） 成實 真人（前 亀井野小学校評議員・民生委員） 加藤 和幸（前 亀井野小学校評議員・亀井野保育園園長） 江添 達男（六会市民センター長） 北橋 節男（亀井野地区社会体育振興協議会会長） 山本 裕章（前親亀会会長 六会地区青少年育成協力会委員） 小野 千佳（主任児童委員 学園都市むつあい協力者会議委員） 玉置 日菜子（藤沢市社会福祉協議会 CSW） 村田 朋子（藤沢市立亀井野小学校校長） 小堀 貴史（藤沢市立亀井野小学校教頭）</p> <p style="text-align: right;">出席 11名 欠席 1名</p>
次第	<p>1. 開会 2. 議題（1）亀井野小学校の現況と課題について （2）授業参観 （3）意見交換 3. その他 連絡等 4. 閉会</p>
協議内容	<p>（質問・意見等） ※2（1）について ⇒チームとして日々の教育活動に励んでいる。 子どもたちも暑い中概ね元気に登校している。 熱中症については、毎日暑さ指数を計測し、活動の仕方に配慮しながら熱中症の予防を凶っている。活動中のこまめな水分補給、運動前や外に行く前に水分補給するよう声かけをしている。 現状では、学校は水泳学習のボランティア、ICT 支援員、スクールサポートスタッフ、介助員など様々なスタッフに支えられて教育活動を行っている。 更に、保護者・地域の方など多くの力を必要としている。 教職員のサポートや、登下校の安全見守り、非常時の対応、地域ならではの教育活動などで、力を貸してほしい。 ○市民センター等と連携して、介助員、学生ボランティアなど人材バンクを活用する。 ○郷土推進会議と連携して昔遊び等を行うことができる。 ○お風呂探検、星を観る会など、地域の農家との連携により体験的学習を行うことができる。 ○三者連携から人材を募ってみるのもよい。 ○児童の登下校時について、自動車の目線でも危険性を感じることが多い。 →下校時に道にひろがったり、ふざけあっている姿もみられる。大人が見守って</p>

いる状況をつくる必要がある。

※2 (2)

○タブレット端末を活用していて、授業のスタイルが大きく変わったことを実感した。

→タブレット端末の導入から5年近くたち、子どもたちにも学習用具としてすっかり定着している。

○子どもたちが、前向きに授業に取り組んでいる様子が見られた。

○児童が荷物を週末に持って帰るようだが、カバンに入りきれないほどの荷物となるので、分散させた方がよい。

→使わないのに持って帰る必要はない。使う分だけ持って帰る。